

第60号

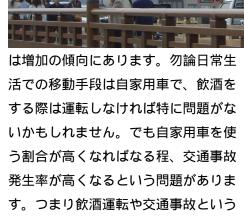
ワイン電車、 4/18 テレビせとうち 「アドマチック天国」で紹介! かも?

~ 酒と遊びと公共交通

■春はお花見。やうやう紅くなり ゆく我顔すこし火照りて、杯止まら ず果ては大いびきかきたる...。

なんて冗談も出てくるようなウキウキ する季節となりました。お花見は古来 より伝わる日本を代表するお遊びでしょうか。岡山市内でも数多 のお花見スポットがあります。ただだ 内を代表するというお花見スポットを も、「旭川さくら道」や「半田山植物 園」のように公共交通機関が整備され、 便利なスポットもあれば、足守の「近 水園周辺」や「たけべの森」などのように自家用車を利用しなければ不便な スポットもあります。

■青い空と薄桃色の桜の下でお弁当。こんな開放的なシチュエーションでは、「なんだか、お酒が飲みたくなる~♪」というのはつきものです。でもそこで気をつけていただきたいのが飲酒運転。近年多くの企業や団体で飲酒運転撲滅運動を行っています。年々活発になってきてはいますが、最終的には個々の意識に頼るだけでなく、飲酒運転をさせない・する必要のない環境整備も必要ではないでしょうか。「公共交通機関が不便又は廃止されたから、車を使わざるを得ない」という地域が日本で



社会問題を解決するには、公共交通機

関の整備が絶対不可欠だという事です。

■しかし今日の社会では公共交通整備事業には費用がかかるという理由等で、大都市を除いてはあまり積極的に取り組まれていません。でも本当に費用がかかる事業なのでしょうか。鉄道空白地帯に新規に高架の線路を敷くだとか、トンネルを掘るなどとなると確かに莫大な費用を要するでしょう。しかし現存する鉄道・路線バス・タクシー、さらに代行サービスなども含めた公共交通を効果的に連携させることを目指し

て既存施設の改良・拡充を中心とした インフラ整備事業を行うのであれば、 それ程莫大な費用は要しないと思いま す。そもそも公共交通機関が整備され る事は無駄な事業ではありません。生 活の足が確保され、飲酒運転や交通事 故を減少させるという施策は、誰もが 望む大切な事業ではないでしょうか。



路面電車と都市の未来を考える会 RACDA 事務局

〒700-0823 岡山市丸の内 1-1-15(禁酒会館 3F) TEL/FAX 086-232-5502 E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp